

## (5) 単行本・報告書・雑誌等

単行本

[様式9]

No.	年度	論文名	書籍名(巻、号、頁)	著者名	備考
1	11年度	濾過・圧搾	「化学工学便覧-第5版-」, 15.3, 丸善, 803-819(1999)	入谷英司	(廃水)
2	11年度	「微粒子懸濁液の精密濾過特性に及ぼす有機溶媒添加の影響」(pp40-45) 「限外濾過における膜面近傍のタンパク質濃度分布の測定」(pp65-69)	化学工学会編・化学工学シンポジウムシリーズ66 「膜工学の新しい挑戦 - 1998」, (1999)	向井康人、入谷英司 他 (分担執筆)	(廃水)
3	11年度	「第1章 濾過操作の基礎と応用」(pp1-11) 「第15章 粒子・流体系分離における最近の研究動向」(pp. 133-148)	化学工学会編・最近の化学工学51 「粒子・流体系分離工学の展開」(1999) 化学工業社	入谷英司、向井康人 (分担執筆)	(廃水)
4	11年度	Characterization of family VI cellulose-binding domain from <i>Clostridium stercorarium</i> . (pp231-239) 他 多数	Genetics, Biochemistry and Ecology of Cellulose Degradation. Uni Publishers Co., Ltd. Tokyo. 1999	K. Ohmiya, K. Hayashi, K. Sakka, Y. Kobayashi, S. Karita, T. Kimura (共著)	(廃水)
5	12年度	固液分離の話, 分離技術会30周年記念出版委員会編	「やさしい分離技術」, 第8章, 分離技術会, 127-143 (2001)	入谷英司	(廃水)
6	12年度	「粉体工学用語辞典-第2版-」	粉体工学会編, 日刊工業新聞社 (2000)	入谷英司	(廃水)
7	13年度	セルラーゼの生産	発酵ハンドブック、単行本 分担執筆 (共立出版) 23-24頁	大宮邦雄	(廃水)
8	13年度	粒子群の沈降	「微粒子工学大系 第1巻 基本技術」, フジ・テクノシステム, 207-210 (2001)	入谷英司	(廃水)
9	13年度	晶析プロセスにおける固液分離の役割	化学工学会編・最近の化学工学53「21世紀の機能性結晶を創製する晶析工学・晶析プロセス」(第9章), pp60-68, (2001) 化学工業社	入谷英司, 向井康人 (分担執筆)	(廃水)
10	13年度	ゼロエミッション型産業をめざして	シーエムシー, 2001	藤江幸一、後藤尚弘他 (共著)	(シミュ)
11	13年度	ゼロエミッションへの挑戦	日報出版, 2001	藤江幸一、後藤尚弘他 (共著)	(シミュ)
12	13年度	環境評価手法の研究開発	地球環境年報 p68, (2001. 6), 中部電力(株)		(シミュ)
13	13年度	ゼロエミッションのための物質循環評価手法の開発	CTI科学技術事業 (技術紹介)		(シミュ)
14	14年度	安井至編「リサイクルの百科事典」	丸善 (2002)	入谷英司	(廃水)
15	15年度	固-液・固-気分離	日本化学会編「化学便覧 応用化学編-第6版-」, 4.3.6, 丸善, 181-182 (2003)	入谷英司	(廃水)
16	15年度	森林の百科(井上真他編)	朝倉書店、東京. 739pp. (2003. 12).	只木良也 (分担執筆)	(里山)
17	15年度	森の文化史.	(講談社学術文庫1662). 講談社263pp. (2004. 6)	只木良也	(里山)
18	16年度	屋久島ゼロエミッション	海象社, 2004	藤江幸一、後藤尚弘他 (共著)	(シミュ)

報告書

No.	年度	論文名	掲載誌名（巻、号、頁）	著者名	備考
1	11年度	塩化ナトリウムを利用した微粒子懸濁液の高速脱水法の開発	ソルト・サイエンス研究財団平成9年度助成研究報告集(特), pp. 213-223 (1999)	入谷英司 向井康人 曾 維平	(廃水)
2	11年度	タンパク質溶液の膜面傾斜型限外濾過における膜面堆積層の濃度分布の実測	平成10年度～平成11年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(2)）研究成果報告書(2000)	入谷英司	(廃水)
3	11年度	Comparison of the enzymatic activities of endo-1, 4- $\alpha$ -glucanases derived from <i>Clostridium josui</i> . <i>Clostridium josui</i> 由来のエンドー1, 4- $\alpha$ -グルカナーゼ群の酵素作用の特性比較。	三重大学生物資源学部紀要(23巻、23-30頁)	Fujino, E. Fujino, T. Sakka, K. Kimura, T. Ohmiya, K.	(廃水)
4	11年度	酵母のキラー因子研究と抗真菌剤としての応用 Studies on yeast killer factors and their use for anti-fungal agents.	三重大学生物資源学部紀要(23巻、81-96頁)	木村 哲哉 荻田 修一 粟冠 和郎 大宮 邦雄	(廃水)
5	12年度	塩化ナトリウムを利用した液中懸濁微粒子の高度分画法の開発	ソルト・サイエンス研究財団平成11年度助成研究報告集 I, pp. 25-35 (2001)	入谷英司 向井康人	(廃水)
6	12年度	液透過率（多孔体）試験方法の調査研究	石油代替電源用新素材の試験・評価方法の標準化に関する調査研究」, 平成12年度成果報告書, 日本ファインセラミックス協会, 545-556 (2001)	入谷英司 向井康人	(廃水)
7	12年度	高度上水処理のためのハイブリッド型膜濾過法の開発	日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」, 「中国南部における石炭エネルギーを基軸とした環境共生型都市システム構築に関する技術開発研究」, 平成11年度成果報告書, 335-359 (2000)	入谷英司 向井康人	(廃水)
8	13年度	可逆凝集を利用したスラッジの高速脱水法の開発	環境研究助成・成果報告書（第20回・平成11年度）, 鉄鋼業環境保全技術開発基金, 353-383 (2001)	入谷英司	(廃水)
9	13年度	高度上水処理のためのハイブリッド型膜濾過法の開発	日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」, 「中国南部における石炭エネルギーを基軸とした環境共生型都市システム構築に関する技術開発研究」, 平成12年度成果報告書, 261-284 (2001)	入谷英司, 向井康人	(廃水)
10	13年度	粒子・流体系膜分離における濾過ケーキの特性の解明	平成10・11年度永井科学技術財団賞受賞記念論文概要集, 永井科学技術財団, 48-51 (2001)	入谷英司	(廃水)
11	13年度	高分子錯体による濃縮を組み合わせたバッチ法による低濃度リン酸イオンの定量	愛知県環境調査センター所報, 第29号 (2001)	丹羽智子	(里山)
12	13年度	分光放射計による樹木の活性度の評価	愛知県工業技術センター研究報告 NO. 37 (2001)	倉橋洋一・堀場隆広・盛田耕作・松永重信（県工技セ）	(里山)

No.	年度	論文名	掲載誌名(巻、号、頁)	著者名	備考
13	13年度	廃木材の利用による木材ファイバーと不織布の積層マット	愛知県工業技術センター研究報告 NO. 37 (2001)	高須恭夫・酒井昌夫・福田聡史・森川 豊(県工技)・木方洋二(財団)	(里山)
14	14年度	濾過の基礎理論	「濾過技術の基礎と濾過プロセスの設計」, 第1章, 情報機構, 1-18 (2003)	入谷英司	(廃水)
15	14年度	3. 2. 5 固液分離	IMS国際共同研究プロジェクト, 国内研究開発企画, バッチ晶析プロセスの設計と制御の高度化に関する研究成果報告書, 25-28 (2002)	入谷英司, 向井康人	(廃水)
16	14年度	液透過率(多孔体)試験方法の調査研究	経済産業省委託・日本規格協会再委託「石油代替電源用新素材の試験・評価方法の標準化に関する調査研究」, 平成13年度成果報告書, 第6章, 日本ファインセラミックス協会, 316-391 (2002)	入谷英司, 向井康人, 中倉英雄, 河野洋一郎, 朴辰珠, 脇田昌宏, 浅井信義	(廃水)
17	14年度	高度上水処理のためのハイブリッド型膜濾過法の開発	日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」, 「中国南部における石炭エネルギーを基軸とした環境共生型都市システム構築に関する技術開発研究」, 平成9年度～平成13年度研究成果報告書, 453-494 (2002)	入谷英司, 向井康人	(廃水)
18	14年度	樹木活性度計測システムの開発	愛知県産業技術研究所研究報告, 第1号(平成14年12月)	依田康宏、堀場隆弘、盛田耕作(愛産研)	(里山)
19	14年度	木材の自己接着によるボード成形	愛知県産業技術研究所研究報告, 第1号(平成14年12月)	高須恭夫、酒井昌夫、福田聡史、森川 豊(愛産研)、木方洋二(財団)	(里山)
20	15年度	3. 2. 5 固液分離技術	IMS (Intelligent Manufacturing Systems) 国際共同研究プログラム, 国内研究開発企画, バッチ晶析プロセスの設計と制御の高度化に関する研究成果報告書, 39-52 (2003)	入谷英司, 向井康人, 片桐誠之	(廃水)
21	15年度	高度上水処理のためのハイブリッド型膜濾過法の開発	日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」 「中国南部における石炭エネルギーを基軸とした環境共生型都市システム構築に関する技術開発研究」, 平成13年度成果報告書, 413-435 (2003)	入谷英司, 向井康人	(廃水)
22	15年度	超微粒子ケーキ掃流のためのコーン・プレート型ダイナミックフィルターの開発	平成12年度～平成14年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書(2003)	入谷英司, 向井康人, 中塚修志	(廃水)
23	15年度	液透過率(多孔体)試験方法の調査研究	平成14年度経済産業省委託「石油代替電源用新素材の試験・評価方法の標準化に関する調査研究」成果報告書, 第4章, 日本ファインセラミックス協会, 147-210 (2003)	入谷英司, 向井康人, 中倉英雄, 河野洋一郎, 朴辰珠, 脇田昌宏, 浅井信義	(廃水)

No.	年 度	論 文 名	掲載誌名 (巻、号、頁)	著者名	備 考
24	15年度	4.8 標準化の素案「ファインセラミックス多孔体の水透過率及び孔径評価試験方法」	平成14年度経済産業省委託「石油代替電源用新素材の試験・評価方法の標準化に関する調査研究」成果報告書, 日本ファインセラミックス協会, 211-223 (2003)	入谷英司, 向井康人, 中倉英雄, 河野洋一郎, 朴辰珠, 脇田昌宏, 浅井信義	(廃水)
25	15年度	木質系エンボスマットの開発	愛知県産業技術研究所研究報告, 第2号 (平成15年)	木方洋二、木方千春 (財団)、酒井昌夫、福田聡史、高須恭夫 (愛産研)	(里山)

#### 雑誌等

No.	年 度	論 文 名	掲載誌名 (巻、号、頁)	著者名	備 考
1	11年度	緑の効用	PREC Study Report 5:6-17. (1999)	只木良也	(里山)
2	12年度	森林の環境保全的働き、特に水源涵養	月刊浄化槽、2:13-21 (2000)	只木良也	(里山)
3	12年度	樹木医からみた樹木の生理栄養学(1)	TREE DOCTOR 8:130-134 (2000)	松井春夫 (財団)、今枝正晴	(里山)
4	12年度	人々の営みと森林-マツ林盛衰記	PREC Study Report 6:12-21. (2000)	只木良也	(里山)
5	12年度	水環境負荷低減のためのキー技術, 「固液分離」技術について	日刊工業新聞・第2部, 2000年11月7日, 日刊工業新聞社, p.6 (2000)	入谷英司	(廃水)
6	13年度	樹木医からみた樹木の生理栄養学(2)	TREE DOCTOR 9巻	松井春夫 (財団)	(里山)
7	13年度	廃木材の利用による木材ファイバーと不織布の積層マット	中部の技術シーズ、中部科学技術センター(2001年10月)	高須恭夫 (県工技)、木方洋二 (財団)	(里山)
8	13年度	自然環境モニタリング なぜ必要か、どうすればよいのか	PREC Study Report 7:22-31. 2001. 12.	只木良也・中川有里(プレック研)	(里山)
9	13年度	柳は緑、花はくれない	森林インストラクター会報 42:1-3	只木良也	(里山)
10	13年度	「め」は口ほどにもの言う	森林インストラクター会報 43:9-11	只木良也	(里山)
11	13年度	はなし半分-この木何歳?	森林インストラクター会報 44:9-11	只木良也	(里山)
12	13年度	逐林、効用樹林、信用樹林	森林インストラクター会報 45:9-11	只木良也	(里山)
13	14年度	森と里山の生態学と都市に対する役割	東海化学工業会会報230、1-4 (平成14年5月)	只木良也	(里山)
14	14年度	森林の効用	森林インストラクター養成講習テキスト 林業編 17-29、森林レクリエーション協会 (平成14年5月)	只木良也	(里山)
15	14年度	木質ファイバーを用いた積層マット	明日を拓く技術開発・研究開発成果事例集、愛知県 (平成14年6月15日)	酒井昌夫	(里山)
16	14年度	廃木材の利用による木材ファイバーと不織布の積層マット	愛産研ニュース (平成14年6月)	酒井昌夫	(里山)
17	14年度	里山、その現状とエネルギー源としての試算	春夏秋冬28、51-57 (2002年)	只木良也	(里山)
18	14年度	「緑のダム」?その意味するもの	PREC Study Report 8:22-31. 2002.	只木良也	(里山)

No.	年 度	論 文 名	掲載誌名 (巻、号、頁)	著者名	備 考
19	15年度	森林の効用	森林インストラクター養成講習テキスト 林業編 15-27. 森林レクリエーション協会 (2003.5、2003.8)	只木良也	(里山)
20	15年度	「名古屋市笹島地区と中部国際空港前島における循環型環境都市構想」	燃料電池開発情報センター機関紙「燃料電池」7月号	森川高行 (名大)、佐藤仁美 (財団)	(都市論)
21	15年度	愛知発新素材ー木質プラスチック	あいちプラス (平成15年10月)	木方洋二 (財団)、高須恭夫 (県産技研)	(里山)
22	15年度	二酸化炭素問題対応の環境材としての森林・木材	春夏秋冬30:59-66 (平成15年12月)	只木良也 (プレック研究所)	(里山)
23	15年度	環境資源としての森林・木質材料	PREC Study Report 9:14-21 (平成15年12月)	只木良也 (プレック研究所)	(里山)
24	16年度	森林の効用.	森林インストラクター養成講習テキスト. 林業編. H16年: 19-31. (2004)	只木良也	(里山)
25	16年度	「蒸気処理したリグノセルロース系材料の熱流動性と成形性」	愛産研ニュース5月号 (2004)	高橋勤子	(里山)
26	16年度	木を植えて森を造るー世界と日本.	科学73(3):273. (2004)	只木良也	(里山)